



泌 尿 器 科 紀 要

第 12 巻 第 5 号

昭和 41 年 5 月

- 随想 松阪便り.....杉村 克治...421
- 副性器分泌液の糖蛋白に関する研究
第II篇 前立腺分泌液のムコ多糖体と各種ホルモンによる影響.....梶尾 克彦...423
- 雄性副性器と脂質
III 不妊に於ける精漿中の Cholesterol に就いて宮尾 尚敏...435
- X線映画による前立腺肥大症の排尿運動.....鈴木 正貢・元重 博文...442
- 尿石症の臨床的観察—昭和34~39年の教室症例について—.....加藤 篤二・
石部 知行・田辺 泰民・白石 恒雄・茶幡 隆之・嶋田 孝宏・平川 十春...453
- Urometry, Cystometry および尿管筋電図の同時誘導法.....土田 正義・木村 行雄...458
- 脊髓に原発した性器外悪性絨毛上皮腫の1例.....栗田 孝・岩佐 賢二・矢野 久雄...466
- 左腎下極に見られた石灰化組織塊の1例.....大堀 勉・小柴 健・後藤 康文...471
- Drip Infusion Pyelography (Conray 使用による)石神 襄次・
森脇 宏・大島 秀夫・松田 源治・福田 泰久・
正司 武夫・斉藤 博・黒田 清輝・竜見 明...475
- 間歇的腹膜灌流の経験.....宮崎 重・天本 太平・田崎 亮・高崎 登...487
- 経腰の大動脈撮影法に関しての一考案.....松浦 省三...496
- 泌尿器科領域における「フルクトンM」の治験例.....稲田 務・酒徳治三郎・
沢西 謙次・相馬 隆臣・川村 寿一・三宅ヨシマル...501
- 前立腺肥大症に対する Eviprostat の使用経験大北 健逸・白神 健志・松村 陽右...511
- 編集後記・購読要項・投稿内規.....518

- Studies on Glycoprotein in the Fluids of the Male Accessory Sexual Organs.
Part II Mucopolysaccharides in the Prostatic Fluid and Effect of
Administration of Various Hormones.N. Kajio...423
- Male Adnexal Organ and Lipid.
III Cholesterol in Seminal Plasma in Patients with Sterility.....M. Miyao...435
- Miction Movement in Prostatic Hypertrophy Observed by X-ray
Cineradiography.....M. Suzuki and H. Motoshige...442
- Clinical Observations on Urolithiasis : Statistical Analysis on the Patients
Seen in Our Clinic during the Period from 1959 to 1964.
.....T. Kato, T. Ishibe, Y. Tanabe, T. Shiraishi,
T. Chabata, T. Shimada and T. Hirakawa...453
- Synchronized Recording of Urometrogram, Cystometrogram and Electro-
myography of the Ureter.S. Tsuchida and Y. Kimura...458
- Primary Extragenital Choriocarcinoma in Spinal Cord : Report of a Case.
.....T. Kurita, K. Iwasa and H. Yano...466
- Calcified Tissue Mass in the Lower Pole of the Left Kidney : Report of a
Case.....T. Ohori, K. Koshiba and Y. Goto...471
- Drip Infusion Pyelography (Use of Conray).....J. Ishigami,
H. Moriwaki, H. Oshima, G. Matsuda, Y. Fukuda,
T. Shoji, H. Saito, K. Kuroda and A. Tatsumi...475
- Experiences on Intermittent Peritoneal Dialysis.....S. Miyazaki,
T. Amamoto, T. Tasaki and N. Takasaki...487
- A Contribution to the Translumbar Abdominal Aortography.....S. Matsuura...496
- Clinical Use of "Fuructose" as Postoperative Intravenous Fluid.
.....T. Inada, J. Sakatoku, K. Sawanishi,
T. Sohma, J. Kawamura and Y. Miyake...501
- Use of Eviprostat for Treatment of Prostatic Hypertrophy.
.....K. Ookita, T. Shiraga and Y. Matsumura...511

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

編集後記

昭和41年度ノ日本泌尿器科学会総会ヲ引キ受ケル事ガ39年春ニ決ツテカラ 教室内ニハ一種ノ雰囲気ガ生マレ 同年秋頃カラ 徐々ニ 準備状態ニ入ツタ。毎週 水曜ノ朝 半時間ト 土曜ノ午後1—2時間ヲ準備会ニ当テル事ニシタ 先ズ 宿題報告ノ題目ニ就テ考エタガ 仲々決マラズ 10月下旬ニナツテ 漸ク「尿石症」ニ関スルモノト決メタ 10年前ニ行ナツタ全国統計以後ノ状況モ知リタイノデ ソノ統計ノタメ依頼文ヲ書イタ。11月中旬ニ外国学者招請ニ就テ数氏ヲ考エ 滞米中ノ友吉講師ニモ相談シタ 12月ニナツテ 総会場 会期 シンポジウム 特別講演者等ニ就テ大体ノ構想ガ決マリ コレデ骨格ガ アラマン出来テ 昭和39年ガ暮レ 40年ニ入ツタ。新年早々カラ 構想ヲ実行ニ移シ始メタ シンポジウム パネルディスカッション ノ題目 司会者 発言者等ヲ決メテ 依頼状ヲ出シ 特別講演者ニモ 同様ニ依頼状ヲ出シタ。従来カラ学会ノ運営ニ就テ考エテイタ事ガアルノデ コノ度ハ必ズシモ習慣ニ捉ワレズニ アル程度ノ新機軸ヲ出シテミョウト思ツタ。ソノ一ツトシテ Colloquium ヲ開ク事ヲ考エ ソノ テーマ座長ヲ決メ 主旨ノ説明書ヲ添エテ 座長ヘ依頼シタ。外国学者ハ 結局 Schlegel 教授ト岐阜医大後藤教授推薦ノ Glenn 教授トニ決ツタ。日本学者トシテハ 京大医化学ノ早石教授ニお願いシタ 1月下旬カラ2月ニカケテ 依頼シタ各氏カラ続々ト承諾ノ手紙ヲ貰ツタガ コレハ実ニ嬉シイ事デアツタ 2月下旬ニ日本泌尿器科学会本部ヘ最初ノ会告原稿ヲ送ツタ コレハ同誌5月号ニ掲載セラレタ 更ニ6月号 8月号ニモ詳細ナ会告ヲ発表スル事ガ出来タ コノ間 5月ニハ仙台ノ総会ニ出席シテ 参考ニナル多クノ点ヲ得タ コノ頃ニハ 尿石症ノ実験的研究ハ着々ト成果ヲ挙げ始メタガ 統計ノ仕事ハ 集計スルノニ日数ヲ要シタ。丁度 教室ノ移転ト重ナツタガ コレニモ負ケズニ教室員一同頑張ツタ 11月中旬ニナルト演題申込モ続々ト到着シ 昭和41年ニナツテ イヨイヨ具体的ノ準備ニ入ツタ 然シ種々ノ書類ノ到着ガ遅レル事ガアリ マタ 従来ノ方法ト変ツタ点ガアリ ソレガ徹底シテイナイ事ガアリ 会告等ハアマリ注意シテ読マレテイナイヨウニ思ワレル事モアツタ 然シ会員諸氏ノ御協力ニヨツテ大過ナク終了シ得タガ 運営方針等ニ就テ大方ノ御批判ヲ頂キタイ (昭和41年5月)。

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要、1：110、昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45:527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。